

気管支喘息の治療のため診療を受けられた患者さんおよびそのご家族へ

福岡東医療センター 小児科で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

| | |
|----------------|---|
| 【研究課題名】 | 持続性気管支喘息児における小児期から青年期にかけての呼吸機能推移の検討 |
| 【研究実施期間】 | 倫理委員会承認日～2026年12月31日 |
| 【研究実施機関・研究責任者】 | 独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 小児科 研究責任者 吉元 陽祐 |
| 【対象となる方】 | 対象期間 ：2010年1月～2025年3月 対象者 ：6歳から15歳まで継続して当院小児科外来で気管支喘息の治療を受けられた患者さん26名 |
| 【研究の意義、目的、方法】 | 気管支喘息のお子さんの中には、小児期から青年期にかけて呼吸機能が低下する場合があります。本研究では、当院で長期間治療を受けられた喘息のお子さんを対象に、呼吸機能がどのように変化するか、また呼吸機能の低下に関連する要因について調べることを目的としています。 |
| 【利用する試料・情報の種類】 | 診療録（カルテ）から以下の情報を収集し、統計学的に解析します <ul style="list-style-type: none">● 呼吸機能検査の結果● 年齢、性別、アレルギーの既往歴、家族歴や出生時の状況等の基本情報● 呼吸機能に影響を及ぼすと考えられる要因（受動喫煙、ペット、運動状況）の情報● 治療内容と経過● アレルギー検査結果（血清IgE値、ダニ・花粉・ペ |

| | |
|-----------|---|
| | ット・カビの特異的 IgE 値) |
| 【個人情報の保護】 | 研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。 |
| 【問い合わせ先】 | 独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：小児科 吉元 陽祐 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331 (代表) |